手作りプランターはみんなの家に飾られています

仮設団地に手作りプランター贈呈

12月４日、御船中学校の２年生が手作りプランターを仮設団地に贈りました。これは、生徒たちが東京チャリティマラソンに参加し、その時に募金活動で集めたお金の一部から、地域のために何かできないかという思いで、２年生全員でプランターを作製しました。贈られた手作りプランターは、ふれあい広場仮設他２ヵ所に計６セット。生徒会長の野﨑こころさん（中２）は「２年生全員の思いがこもっています。大切に使ってもらうとうれしいです」と笑顔で話しました。

うがい用お茶で毎日元気に！

12月６日、上益城郡内の茶業後継者でつくる上益城茶業青年会（野田大輔会長）から、うがい用お茶パックが町内の全小学校に贈られました。今回で９回目。お茶に含まれるカテキンが、インフルエンザの予防に効果があるといわれており、約129kgのお茶が同会から贈られました。野田会長は「お茶でうがいをすることで、風邪、インフルエンザ予防にもなるし、これをきっかけにお茶を飲む機会が増えればうれしい」と話しました。

お茶を本田安洋副町長に渡す野田会長（左から２番目）

1_鍋の下ごしらえをする参加者たち
2.3_「みんなで乾杯ー!!」

移動居酒屋プロジェクトin今城・旧七滝中仮設

国際ボランティア団体テラ・ネット（堀田眞哲代表）が12月６日、今城仮設団地（江藤昭生代表）と21日には、旧七滝仮設団地（山中款代表）で交流支援として鍋パーティーを開催しました。同団体は、東日本大震災の被災地にも移動居酒屋を開店し、支援を行ってきました。参加者は、博多名物の水炊き鍋やもつ鍋を食べ、酒を飲みながら、交流しました。両仮設団地代表は「久しぶりにみんなの顔が見れた。このプロジェクトに協力してくれた地域支え合いセンター、テラ・ネットに感謝しています」と笑顔で話しました。

上野保育園でふれあい交流会

12月６日、上野保育園（上村いつ子園長・47人）で七滝地区の敬老会とふれあい交流会が開催されました。このイベントは、地域の敬老会とさらなる交流を深めるために、毎年開催されています。ステージでは、園児たちの元気な歌やサンタの格好をした可愛らしい踊りなどがあり、歓声が上がりました。イベントの途中では、北上野老人クラブの光永信一会長が摩訶不思議なマジックを披露し、園児たちはびっくりしました。最後は、一緒に手遊びをして盛り上がり、会場は笑い声と笑顔でいっぱいになりました。

おじいちゃんおばあちゃんとの手遊び

1_正代関から手形入りのサイン贈呈。
2_笑顔で握手する正代関

正代関とくまモンが高木に元気をお届け

12月１日、宇土市出身の正代関（時津風部屋）とくまモンが高木の甘木仮設団地を訪問しました。被災した人たちに元気を届けたいという思いで実現。正代関は、くまモンとコラボ体操をしながら、会場を盛り上げました。約150人が集まった会場では、正代関と握手したり、サインを求める参加者の長蛇の列が長く続きました。甘木仮設団地の永田アツ子さんは「正代関もくまモンも初めて本物を見ました。元気をもらいました」と笑顔で話しました。

伝統行事　玉虫節頭まわし

12月３日、五穀豊穣や無病息災を山の神に感謝して、一升三合三尺（約2.4ﾘｯﾄﾙ）の大杯に注がれた酒を飲み干す祭り「節頭まわし」が玉虫公民館で行われ、約30人が参加しました。祭りは、江戸時代から続けられており、玉虫地区の上組・中組・下組に分かれた男衆が、年輩者から順番に酒を飲みます。最後の一人が飲み干したあと大杯を頭にかざすと参加者からは盛んな拍手が送られました。

各組最後の一人が大杯を頭にかざすと拍手が送られた

1_餅を手で丸めて、詰める様子
2_力強くぺったん！ぺったん！！

小坂小でもちつき収穫祭

12月３日、小坂小学校（山本定校長・221人）でもちつき収穫祭が行われました。今回で５回目となるこのイベントには、児童や保護者、地域住民ら約300人が参加。もち米は、11月に徳永廣敏さん（陣）の田んぼで収穫したもの。児童たちは、地域住民や保護者がもちをつく姿を手本に、声を掛け合いながら一生懸命に杵を振り上げました。６年生の成松来望さんは「もちつきをすることで、こうやってみんな集まり、息を合わせてするのが楽しい」と元気に話しました。

２丁目区で防災研修

12月３日、２丁目区（塩山紘一区長）で「命と財産を守るみんなの集い」が老人ホームふるさとで行われました。これは、万一の災害に対応できるためと、２丁目区内の住民のさらなる交流も目的としています。講習会では、御船警察署や地域支え合いセンターなど各団体から、地域住民に「熊本地震を振り返り、もしものための備えが大切」など強く訴えかけました。講習後のお見知り会では、たくさんの地域住民たちが交流し合い、今後の２丁目区の地域どうしのつながりがより強いものとなりました。

1_地元消防団に消火器の使い方を教わる参加者たち
2_防災講話会場の様子